

温熱療法について

(患者さん用)

体温が 36.0℃以下の低体温症の人が増加しています。1℃体温が低下すると、免疫力が 30%低下、基礎代謝率が 15%低下します。それにより自律神経失調症、アレルギー、ガンなどの様々な病気の発症するきっかけとなります。これらの病気の治療法として川端鍼灸治療院ではドーム型遠赤外線治療器（以後ドーム）による温熱療法を行っています。

1.温熱療法の効果は？（個人差あり）

- (1) 血流の促進による、冷え症の改善
- (2) 自律神経機能の調整
- (3) 免疫力の向上
- (4) 傷ついた細胞を修復する HSP（ヒートショックプロテイン）の産生
- (5) ダイオキシンなどの体内に蓄積された化学物質の排出（解毒作用）
- (6) ダイエット、美肌効果

2.具体的な治療方法について

- (1) T シャツや短パンなど発汗によって、濡れても良い服装に着替えます。
- (2) 体温と血圧を計測し、身体の状態をチェックします。治療直前の注意事項を確認してします。
※別紙参照
- (3) ぬるま湯を 300ml 以上飲みます。
- (4) ドームに入り、仰臥位：約 15 分間→腹臥位：約 15 分間→保温：約 10 分間
身体を温めます。
- (5) ドームから出て、多量の発汗による脱水を予防するために、再び、ぬるま湯を 300ml 以上飲みます。
- (6) もう一度、患者さん体温・血圧・身体の状態をチェックします。

3.ご用意していただくもの

- (1) T シャツ、短パン、下着などの着替え
- (2) 500ml の空のペットボトル
- (3) バスタオル 3 枚 フェイスタオル 2 枚（※レンタルあり 別途 500 円）

4.その他

- (1) 注意事項に同意できない、最高血圧 160mmHg か最低血圧 100mmHg 以上の方 体温が 36.8℃以上、身体の一部に急性の痛み、熱感、腫れ、痺れ、出血、傷口、感覚麻痺、骨折などが認められる方、体調不良の場合は、温熱療法を行うことができません。また、途中で治療を中止する場合があります。
- (2) 飲食後 30 分以内や飲酒後は、温熱療法はできません。
- (3) 金属繊維、ラメの入ったシャツや速乾性のシャツの着用での治療はできません。
- (4) 注射や点滴後は治療できません。
- (5) 鍼灸治療を初めて受診された日に、温熱療法を受けることはできません。

ご不明な点がございましたら、

川端鍼灸治療院 TEL075 (762) 2101 までご連絡ください。